

キャンプファイヤー



活動内容	静かな暗闇の中、仲間たちと大きな炎を囲みながら厳粛な雰囲気の中でつどいを行ったり、レクリエーションで親睦を深めたりする活動です。また、「迎火のつどい」では、小さな火から大きな炎へと燃え広がっていく様に、火の神秘的な雰囲気を体感することができます。		
------	---	--	--

対象	必要時間	活動人数	活動形態
制限なし	1. 5~2時間	100名程度	全体
活動場所 つどいの広場、運動広場、 キャンプ場	必要引率者 巡回・安全管理	活動適正期間 3月~11月	自然・感性 <input checked="" type="radio"/> 創意工夫 <input type="radio"/> 主体・計画 <input checked="" type="radio"/> 協調・協働 <input type="radio"/> 粘り強さ <input type="radio"/> 人間関係 <input checked="" type="radio"/>

活動の流れ	利用団体		「玄海の家」職員
	事前	【打合】活動場所 【準備】燭台設置、放送器具の点検、貸し出し物品の確認	【打合】活動場所
活動の流れ	事前	16:30キャンプファイヤー準備参加 活動15分前:灯油の受け取り	16:30キャンプファイヤー準備指導 活動15分前:灯油の受け渡し
	活動(例)	①第一部「迎火のつどい」(20分) ・井桁への点火 ①第二部「交歓のつどい」(60分) ・レクリエーション、歌唱 ①第三部「送火のつどい」(20分) ・閉会	団体の要望があったタイミングで投光器点灯
	事後	【解散】研修生は引率者の指示に従う 【片付】貸出物品の返却、火の見張り 活動後、火が落ち着くまで見張りと管理をする 火の始末状況を職員に報告する(22:00) 翌朝、朝のつどいまでに灰の処理を完了	※投光器の消灯 【片付】返却物品の受け取り 火の始末を行う(22:00)

引率者の役割	・16:30から実施会場にて、活動準備のための打ち合わせを玄海の家職員と行う。 ・活動中は火傷や暗闇での転倒がないよう巡回を行い、有事の際は事務室へ連絡する ・貸出物品の受け渡し、管理を行い、破損、紛失等があった際は事務室へ連絡する ・活動後、22時まで火の見張りを行い、翌朝、灰をキャンプ場のファイヤーサークル内に捨てる
活動の留意点	・活動の安全上、風速が秒速4m以上の場合は実施できない ・レクリエーション等を行う際に、必要であれば投光器を点けることができる ・緊急時のため水を確保(ホース・バケツ)し、その場所を確認しておく
「玄海の家」で準備できるもの	火の長・女神の衣装、コードリール、ポータブルデッキ、ラジカセ、 資料(火の長の言葉、誓いの言葉、詩の朗読)、ホースまたはバケツ 投光器(つどいの広場、運動広場で実施する場合のみ)
利用団体で準備するもの	活動費4,000円(井桁用薪、点火用灯油)※トーチは含まれない トーチ、チャッカマン、音源CD等出しものに必要な物